

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザ(新型インフルエンザ)情報

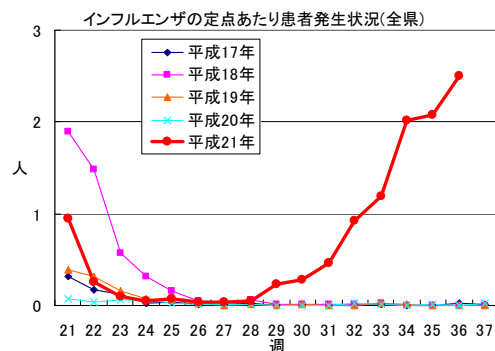
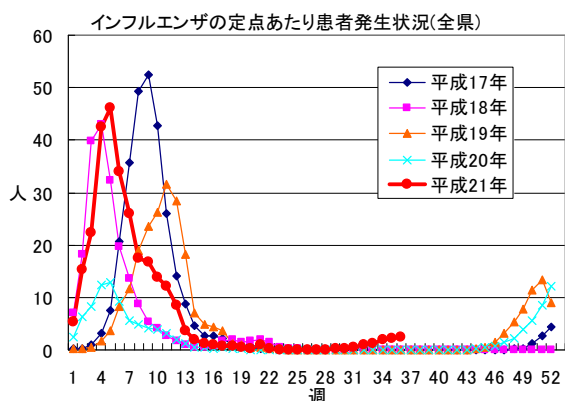
インフルエンザ患者数は県内の内科と小児科の医療定点(199か所設置)からの報告によるものですが、現在はほとんどが新型インフルエンザ患者と考えられています。インフルエンザの定点あたり患者数は **2.50人**(先週2.08人)とさらに増加しました。患者の年齢分布は10歳未満が40%、10歳代が41%、20歳代が9%、30歳以上が10%となっています。

県内の学校でのインフルエンザによる学級閉鎖等の状況は、51校(前週は1校)で学年閉鎖あるいは学級閉鎖されています。社会福祉施設等(保育所を除く)でのインフルエンザ集団発生状況は13施設(前週は7施設)となっています。詳しくは兵庫県のホームページの新型インフルエンザ記者発表資料をご覧ください。

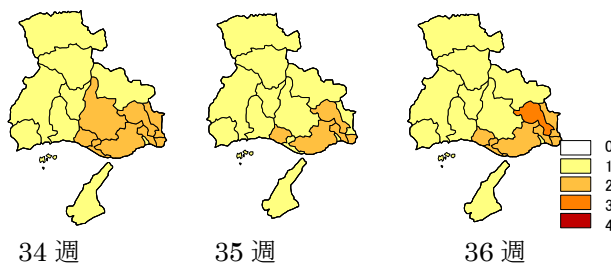
<http://web.pref.hyogo.jp/contents/000135403.pdf>

新学期が始まり学級閉鎖等が急増しました。今後さらに患者数が急増することが予想されますので注意が必要です。

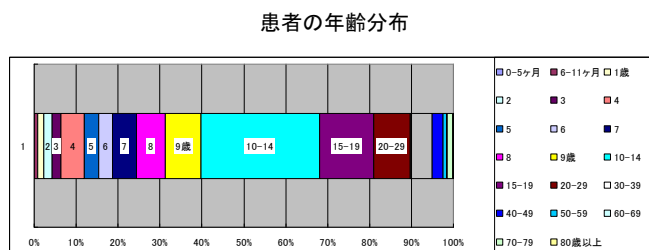
都道府県別では沖縄県にインフルエンザ流行の警報レベル(定点あたり患者数30人以上)の保健所が、宮城県、京都府、大阪府及び福岡県に注意報レベル(定点あたり患者数10人以上)の保健所があります。



(左のグラフの部分拡大図)



(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています)



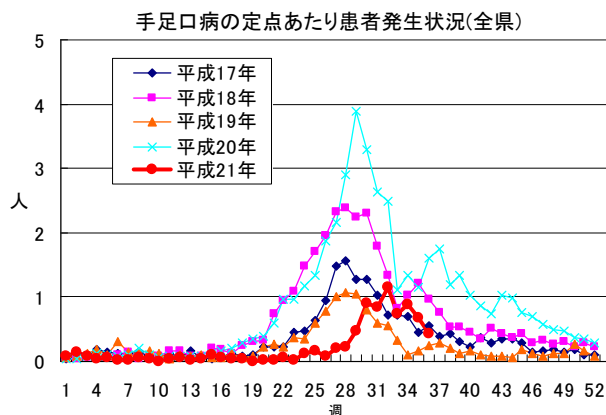
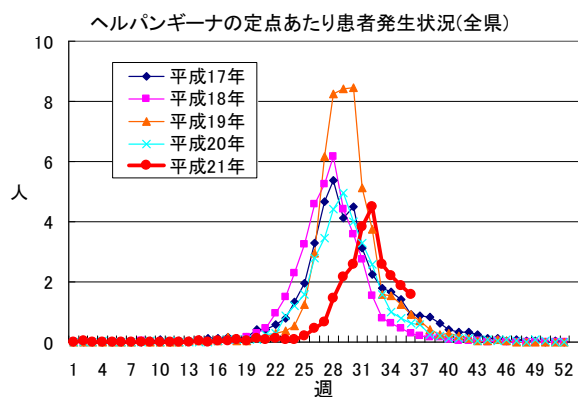
新型インフルエンザに関する情報は次のホームページ(HP)をご覧ください。

- 厚生労働省のHP (<http://www.mhlw.go.jp/>)
- 厚生労働省: 新型インフルエンザ最新情報 (<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/index.html>)
- 国立感染症研究所感染症情報センターのHP (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)
- 兵庫県のHP: 新型インフルエンザ対策について (<http://web.pref.hyogo.jp/ac02/influenza.html>)

定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症です）

ヘルパンギーナ と手足口病

夏の代表的な小児感染症にはヘルパンギーナや手足口病などがあります。31週にピークを示したヘルパンギーナの患者数は定点あたり **1.58人**（先週 1.86人）と今週はさらに減少しました。手足口病の患者数は定点あたり **0.43人**（先週 0.67人）と減少しました。



定点あたり患者数の上位10位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	3.16	2.95	+0.21	6位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.48	0.29	+0.19
2位	インフルエンザ	2.50	2.08	+0.42	7位	水痘	0.46	0.41	+0.05
3位	ヘルパンギーナ	1.58	1.86	-0.28	8位	手足口病	0.43	0.67	-0.24
4位	突発性発しん	0.69	0.62	+0.07	9位	流行性耳下腺炎	0.32	0.38	-0.06
	流行性角結膜炎	0.69	1.14	-0.45		10位	咽頭結膜熱	0.16	0.16

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

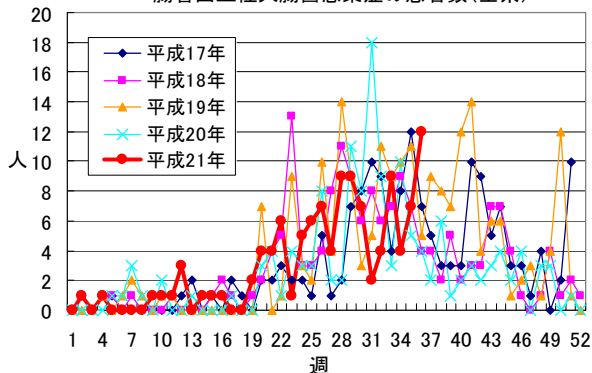
1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 30名 （神戸市 16名、尼崎市 2名、姫路市 1名、西宮市 7名、伊丹保健所管内 1名、加古川保健所管内 1名、福崎保健所管内 1名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 12名 （神戸市；0157 VT1+VT2+ 3名、尼崎市；0157 VT型不明 1名（HUS）、姫路市；0157 VT1+VT2+ 1名、西宮市；0157 VT2+ 1名、伊丹保健所管内；0157 VT2 1名、0157 VT1+VT2+ 1名、加古川保健所管内；0157 VT型不明 1名、01571VT1VT2 1名、福崎保健所管内；0157 VT2+ 2名）
4類感染症	レジオネラ症 2名 （西宮市 1名、宝塚保健所管内 1名）
5類感染症	アメーバ赤痢 1名 （豊岡保健所管内）、 梅毒 1名 （明石保健所管内；早期顕性梅毒 I期）
追加報告	結核 3名 （伊丹保健所管内 1名、宝塚保健所管内 2名）、 腸管出血性大腸菌感染症 1名 （尼崎市）、 レジオネラ症 1名 （神戸市）

腸管出血性大腸菌感染症

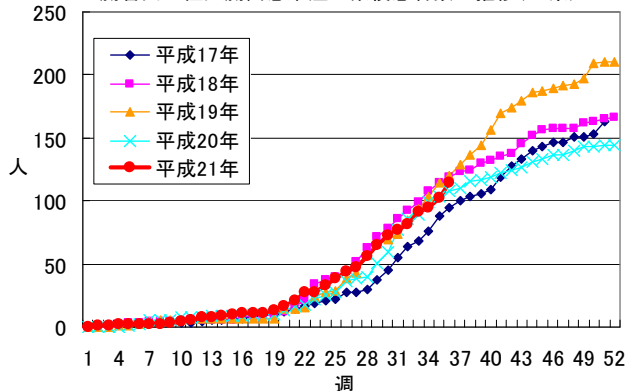
腸管出血性大腸菌感染症の患者数が今週 12 人報告されました。尼崎市から報告のあった 2 歳幼児は溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症しています。また、飲食チェーン店（ペッパーランチ）での角切りステーキによる感染が他府県においても問題になっていますが、今週報告された 12 人のうち 4 人についてはペッパーランチでの喫食が報告されています。

例年夏場を過ぎても患者が多数報告されていますので注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症の患者数(全県)



腸管出血性大腸菌感染症の累積患者数の推移(全県)

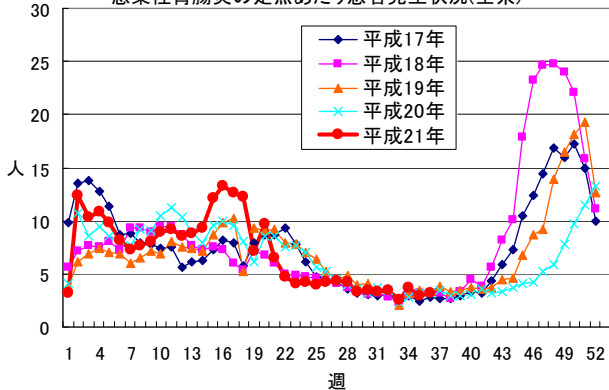


検査情報（兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター）

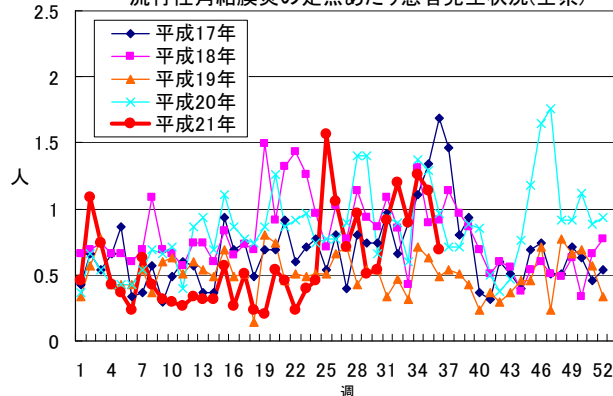
尼崎市内の医療機関を受診した**急性肺炎患者 2 名**（いずれも 1 歳）、**気管支炎患者 1 名**（4 歳）及び**喘息性気管支炎患者 1 名**（1 歳）からそれぞれ**ヒトメタニューモウイルス**が検出されました。

目で見える動向（県内）

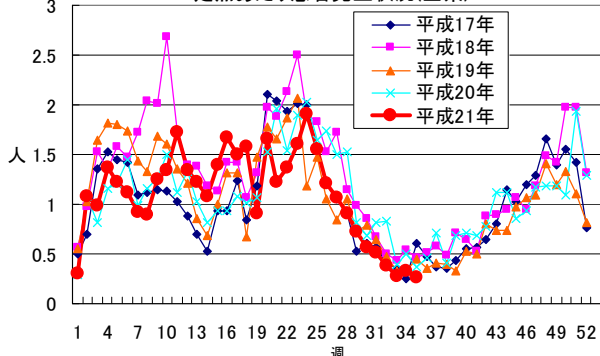
感染性胃腸炎の定点あたり患者発生状況(全県)



流行性角結膜炎の定点あたり患者発生状況(全県)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の
定点あたり患者発生状況(全県)



水痘の定点あたり患者発生状況(全県)

